

ティエスエスリンク & ラック 共催セミナー #1 【中小企業に最適な情報漏洩対策とは】

【日時】令和6年6月25日（火）14:00 – 15:30

近年、大企業だけでなく、中小企業にとっても情報漏洩対策は必須となっています。しかし、実際に何をすればよいか、お悩みの企業様が多い実態があります。

そこで、中小企業に最適なセキュリティ対策のご提案ができればと考え、株式会社ティエスエスリンク、株式会社ラック共催で、セミナーを開催しました。



■講演1：「最新のセキュリティ動向と、地域の中小企業にとって重要なポイント」

株式会社ラック 新規事業開発部 部長 又江原 恭彦

日本国内サイバーセキュリティ市場のパイオニアであるラック社。同社が運用する「緊急対応サービス」「セキュリティ監視サービス」「ペネトレーションテスト（侵入テスト）」の最新2024年1月-3月出動動向から、情報漏洩の原因や問題点を考察し、地域の中小事業者が対策する重要なポイントを解説しました。 <https://www.lac.co.jp/>



■講演2：「中小企業に最適な情報漏洩対策とは」

株式会社ティエスエスリンク ソフトウェア事業部 平井 彩花

設立25年来、情報セキュリティ対策ソフトの開発・販売を行うティエスエスリンク社。最新2024年「中小企業における情報セキュリティ対策の最新動向」をもとに、現状・原因を分析し、そこから見えてくる、中小企業に最適な情報漏洩対策を解説しました。

<https://www.tsslk.jp/>



参加者の声（アンケートや懇親会より）

- ・たくさん質問してしまいましたが、とても参考になりました。
- ・最新の実績レポートを無料で公開しているのがすごい。
- ・ペネトレーションテストの必要性を感じていたので、課題にします。

【主催】株式会社ティエスエスリンク、株式会社ラック

【後援】四国サイバーセキュリティネットワーク（四国SEC）

【場所】徳島県徳島市 あわぎんホール 会議室

【お問い合わせ先】株式会社ティエスエスリンク 050-1748-1144

「脅威モデリングワークショップ in 徳島」を開催！

- Tokushima Cybersecurity Meetup は、令和6年7月27日（土）にOWASP Sendai チャプターリーダー & セキュリティイニシアティブ代表の小笠さんを講師をお招きし、「脅威モデリングワークショップ in 徳島」を開催しました。Web アプリや業務システムの開発者などを中心に、計 24 名の方にご参加いただきました。
- 脅威モデリングワークショップ in 徳島では、ホワイトボードを使用して DFD （データフロー図）を書き、脅威を特定し、対策を考えるハンズオンをグループワークを通じて、脅威モデリングの基本を学びました。参加者は小グループに分かれ、実際のシナリオを用いて脅威モデリングのプロセスを体験しました。

開催概要

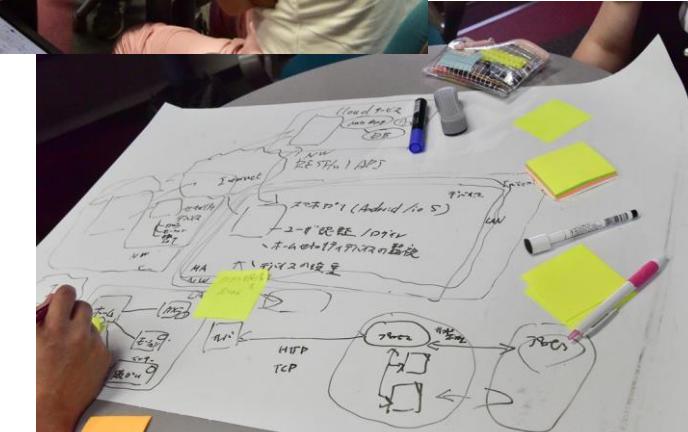
【日時】 令和6年7月27日（金）13:00 ~ 16:00
【場所】 国立大学法人鳴門教育大学 マルチメディア室（共通講義B棟 3F）
（〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地）
【対象】 システム設計者、ソフトウェア開発者、ITプロフェッショナル、情報セキュリティ担当者、セキュリティに関心があるすべての人
【主催等】 主催： TOKUSHIMA Cyber Security Meetup
後援： 四国サイバーセキュリティネットワーク



プログラム

脅威モデリングワークショップ in 徳島（13:00 ~ 16:00）

講師：小笠 貴晴氏（OWASP Sendai チャプターリーダー & セキュリティイニシアティブ代表）
ペンテスター/セキュリティコンサルタントとして、ペネトレーションテストや脆弱性診断をベースにITセキュリティに関するテクニカルコンサルティングを得意とする。資格：GXPN, GCFA, GPEN, GWAPT, GCIH。



「CTFワークショップ in 高知」を開催 『サイバーセキュリティの基礎を体験してみよう』

- 総務省四国総合通信局は、令和6年10月5日、学生を対象とした「CTFワークショップ」を高知県高知市において開催し、高知県から専門学校生、短大生、高専生、大学生 計16名の参加がありました。
- ワークショップでは、巧妙化するサイバー攻撃に関する最新情報の講演や、サイバーセキュリティの基礎知識を習得するための旗取りゲーム（CTF※）を実施し、サイバーセキュリティへの興味・関心を高めていただきました。※Capture The Flag：答えとなるFLAGを探すゲーム形式のセキュリティのコンテスト

開催概要

【日時】 令和6年10月5日（土）14時～17時
【場所】 高知共済会館 中ホール藤（高知市本町5丁目3-20）
【対象】 サイバーセキュリティに興味はあるが、これまで学んだことの無い学生から CTF参加数回程度の学生
（高校生・専門学校生・短大生・高専生・大学生・大学院生）
【主催等】 主催：四国総合通信局
共催：四国サイバーセキュリティネットワーク（四国SEC）
後援：四国情報通信懇談会

プログラム

◆第一部：講演「サイバー攻撃のトレンド」（60分）

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）
ナショナルサイバートレーニングセンター長 園田道夫氏

講師から、巧妙化するサイバー攻撃に関して、現在のトレンドを中心に、初学者でも 分かりやすい表現でご説明いただきました。

◆第二部：CTFワークショップ（100分）

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT） 園田道夫氏
株式会社セキュアサイクル 代表取締役 服部祐一氏

参加者の皆様に、実際に解析ツールを用いて試行錯誤しながらサイバーインシデントに関する問題を解いていただき、解けたクイズの合計点を競っていただきました。

<講演の様子>

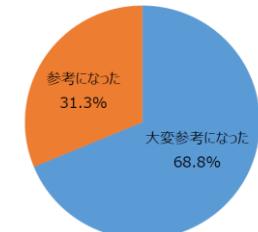


<CTFワークショップの様子>



* 参加者の声（アンケートより）

「とても楽しかったです。
高知でまたやってほしいです。」
「実力をつけてまた挑戦したい。」
「難しくて解けなくて悔しかった。
勉強して再挑戦したい。」
「もっと難しい問題に挑戦すると同時に
他の人と競い合いたい。」



「AWSインシデント対応演習」を開催！

- TOKUSHIMA Cyber Security Meetup（徳島県サイバーセキュリティ勉強会）は、令和6年10月26日（土）に株式会社コクチョウから講師をお招きし、「AWSインシデント対応演習」を開催しました。業務などで AWS を利用されている技術者の方を中心に、計 14 名の方にご参加いただきました。
- AWSインシデント対応演習では、AWSを用いてクラウド特有のセキュリティを学び、特にインシデントが起こった際にどのようにそのインシデントを検知しどう分析対応を行うのか、その一端を演習にて学習しました。

開催概要

【日時】 令和6年10月26日（土）13:00 ~ 18:00
【場所】 四国大学交流プラザ TAG-RI-BA 2F スタディ・コミュニケーションスペース
（〒770-0831 徳島県徳島市寺島本町西2-35-8）
【対象】 AWSを業務で利用されている方、または、AWSをこれから学び始めようと思っている方
【主催等】 主催：TOKUSHIMA Cyber Security Meetup（徳島県サイバーセキュリティ勉強会）
後援：四国サイバーセキュリティネットワーク

プログラム

AWSインシデント対応演習（13:00 ~ 18:00）

講師：宮下 大祐 氏（株式会社 コクチョウ）

事業会社のセキュリティチームのマネージャとしてクラウドセキュリティを中心とするプロダクトのセキュリティを担当。コクチョウではセキュリティサービスを提供しており、脆弱性診断やクラウドのセキュリティトレーニング、コンサルティングを提供しています。趣味はうどん。



演習風景

「全国型CTFコンテスト@松山会場」を開催

- 総務省四国総合通信局は、令和6年11月30日、学生及び若手社会人を対象とした「全国型CTFコンテスト」を愛媛県松山市において開催し、愛媛県、香川県、広島県から**大学生、若手社会人 計約10名**の参加がありました。
- コンテストでは、全国7会場とオンライン参加者をつなぐハイブリッド形式で、巧妙化するサイバー攻撃に関する最新情報の講演や、サイバーセキュリティの基礎知識を習得するための旗取りゲーム（CTF※）を実施し、サイバーセキュリティへの興味・関心を高めていただきました。

※Capture The Flag : 答えとなるFLAGを探すゲーム形式のセキュリティのコンテスト

開催概要

- 【日時】 令和6年11月30日（土）13時～17時
【場所】 TKP松山市駅前 カンファレンスセンターホール2D
（愛媛県松山市千舟町4-3-7）
【対象】 サイバーセキュリティに興味がある中学生・高校生・高専生・大学生・大学院生・若手社会人（3年目まで）
【主催】 総務省サイバーセキュリティ統括官室・東北総合通信局・関東総合通信局・北陸総合通信局・近畿総合通信局・中国総合通信局・四国総合通信局・九州総合通信局

プログラム

◆第一部：講演「サイバー攻撃のトレンド」（55分）

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）
ナショナルサイバートレーニングセンター長 園田 道夫 氏

講師から、昨今話題になっているインシデント事例などを紹介しながら、巧妙化するサイバー攻撃のトレンドをご解説いただきました。

◆第二部：CTFコンテスト（150分）

参加者持参のPC・解析ツールを用いて、サイバーセキュリティに関する問題を解いていただきました。問題には難易度に応じてそれぞれ異なるポイントが設定されており、合計得点数を競うコンテストを実施しました。

ランドマーク等の写真から正確な場所を特定したり、壊れた画像を解析して復元したり、パケットを追跡したりといった問題が出題され、参加者は真剣に取り組んでいました。

＜講演の様子＞



＜CTFコンテストの様子＞



*参加者の声（アンケートより）

- 「CTFは初めてだったが、ゲームのような感覚で楽しく解くことができた。
周りの競技者と競争することでより楽しかった。」
- 「実際に手を動かし理解を深めるよい機会となった。」
- 「対面で競争相手の顔を見ながらCTFをするのはとても楽しかった。」
- 「セキュリティについての全般の話は勿論のこと、現状抱えるセキュリティ問題を聞けた事にとても関心を持てた。」
- 「全国で配信を繋いだCTFは珍しく、多くの人がセキュリティに興味があり努力しているという事実が、今後も頑張ろうというモチベーションになった。」

「サイバーセキュリティセミナーin高松」を開催

《サイバーセキュリティと事業継続～持続可能な成長に向けた戦略～》

- 総務省四国総合通信局及び四国サイバーセキュリティネットワークは、令和6年12月12日（木）に「サイバーセキュリティセミナーin高松」を高松市で開催（ハイブリッド）し、**四国各県の企業、自治体、銀行、大学、警察、国の機関等**から、現地・オンライン計約60名の参加がありました。（このセミナーは「四国サイバーセキュリティネットワーク（四国SEC）※1」の取り組みの一環である「サイバーセキュリティシンポジウム道後（SEC道後）2025※2」のプレイベントとして開催しました。）
※1 <https://www.soumu.go.jp/sotsu/shikoku/chiiki/shikoku-cybersecuritynet.html>
※2 <https://www.sec-dogo.jp/>
- セミナーでは、サイバー攻撃の現状と対策や、地域におけるサイバーセキュリティ対策に関する取組の情報共有、地域の企業や個人が狙われたサイバー犯罪事例や講じるべき対策についての講演を実施し、サイバーセキュリティ対策向上の重要性等について理解を深めていただきました。
- セミナー終了後、**四国SEC主催**で市内別会場において**情報交流会**を開催し、講師を含め約20名の参加がありました。地域のセキュリティコミュニティ充実を図るため、参加者間で情報共有や意見交換を行っていただくことで、交流を深めていただきました。



■講演1 「情報通信分野におけるサイバーセキュリティ対策の動向」

総務省 サイバーセキュリティ統括官室 統括補佐

梅城 崇師 氏から、サイバー攻撃の動向や最新事例、その課題に対する国の施策についてご紹介いただきました。



■講演2 「サイバー犯罪の現状と対策」

香川県警察本部 生活安全部 サイバー犯罪対策課
課長補佐 松永 裕二 氏から、SNSやマルウェアを利用したサイバー犯罪の事例と、その対応策についてご説明いただきました。



■講演3 「中小企業の持続可能な成長を実現するサイバーセキュリティ対策」

株式会社ラック 新規事業開発部長 又江原 恒彦

氏から、サイバーセキュリティ専任担当者の重要性や、リスク分析の手法についてご説明いただきました。



■講演4 「事例から考えるセキュリティ脅威と対策」

株式会社STNet プラットフォーム本部 セキュリティサービス部 セキュリティサービス第2課 宮崎 貴充 氏から、身近なセキュリティインシデント事例のケースと、その対策方法についてご紹介いただきました。



<会場の様子>

*参加者アンケートより

「実際の事例に基づいたお話が有益だった」

「講演内容全体の流れが、政府の取組みから実際の現場の具体例まで段々と下りていったため、分かりやすかった」

「具体的な事例をご紹介いただいたので、大変参考になった」

「サイバーインシデント演習in徳島」を開催 《サイバーセキュリティと事業継続～持続的な成長に向けた戦略～》

- 総務省四国総合通信局は、令和7年2月5日（水）に「サイバーインシデント演習in徳島」を開催し、企業、自治体、銀行、病院、事業者、大学及び国等の機関から、経営層やセキュリティ責任者及び情報システム運用担当者など24名の参加がありました。
- 疑似的なセキュリティインシデント発生時の対応手順を体験することにより、組織内の基本方針やルールを考えるなど、サイバー攻撃による被害拡大を最小限にとどめる効果的な対応方法等について理解を深めていただきました。
- 演習では、インシデント発生時から刻々と変わる状況が時間を追って提示されていき、その際に取るべき対応をグループごとに協議し、発表していました。選択するべき対応策は、業種や事業規模、利害関係者等との関係性によっても変わってくることなどを学びました。

開催概要

- ・日 時 令和7年2月5日(水) 13時30分～17時
- ・場 所 四国大学交流プラザ フォーラムホール（徳島市寺島本町西2-35-8）
- ・対 象 中小企業や団体等の経営層、セキュリティ責任者及び情報システム運用担当者の方等

プログラム

◆第1部 講演

「サイバー攻撃の情勢及び対応策について」

講師：株式会社川口設計 代表取締役 川口 洋 氏

最近話題になっているインシデント事例を紹介しながら、サイバー攻撃による被害拡大を最小限にとどめるインシデント対応の流れについて解説。



<川口講師>

◆第2部 インシデント演習

「セキュリティ事件・事故発生時の効果的な対応について」

講演の内容を踏まえ、参加者によるグループワークを実施。机上演習として疑似的なインシデント発生対応の検討、評価までのサイクルを、参加者が互いにディスカッション・意思決定しながら体験。



<講演の様子>



<インシデント演習の様子>

◆総務省四国総合通信局は、経済産業省四国経済産業局とともに、地域の関係者と連携して「四国サイバーセキュリティネットワーク（四国SEC）」を立ち上げ、地域のセキュリティ対策向上等に取り組んでいます。本演習もその一環として実施したものです。

<https://www.soumu.go.jp/soutsu/shikoku/chiiiki/shikoku-cybersecuritynet.html>



「サテライトSEC道後2025」を開催

«全国有数の大規模サイバーセキュリティイベントSEC道後2025を 四国管内の大学・高専へオンライン配信»

- 四国総合通信局は令和7年3月7日（金）及び8日（土）、愛媛県松山市で開催の「サイバーセキュリティシンポジウム道後（SEC道後）2025」のプログラムについて、四国管内の大学・高等専門学校に設置した3箇所のサテライト会場※にオンラインライブ配信するイベントを実施しました。
- 四国管内の大学等からのべ約15名の参加があり、サイバーセキュリティ分野の第一線で活躍する専門家による講演やパネルディスカッション等の聴講を通じ、最新の情報や地域におけるサイバーセキュリティ対策の重要性などについて学んでいただきました。

主なプログラム

○3月7日（金）

◆基調講演「サイバーセキュリティ政策の現状と動向について」

総務省サイバーセキュリティ統括官室 サイバーセキュリティ統括官 **山内 智生**

◆講演①-1「サイバー空間をめぐる脅威の情勢と取るべき対応」

警察庁 サイバー警察局 サイバー企画課 サイバー事案防止対策室 課長補佐
中川 陽介 氏

◆講演①-2

「サイバー空間の脅威の情勢とJC3の主な活動～産官学の連携の現場から～」
一般財団法人日本サイバー犯罪対策センター(JC3) **櫻澤 健一** 氏

◆パネルディスカッション

「インシデント対応の現実と理想：ベストプラクティスを求めて」

<コーディネータ>

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）
サイバーセキュリティネクサス 主任研究員

<パネリスト>

最高検察庁刑事部先端犯罪検察ユニット（JPCC）事務取扱検事
国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構 JAXA-CSIRT 副CSIRT長
個人情報保護委員会 事務局 審議官

佐藤 公信 氏

マキロイ 七重 氏
間下 義暁 氏
小川 久仁子 氏

○3月8日（土）

◆講演②「持続可能な成長に向けた暗号技術の研究開発」

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）
サイバーセキュリティ研究所 セキュリティ基盤研究室

大久保 美也子 氏

◆講演③「パソナグループにおけるDXの取組みとセキュリティ対策」

株式会社パソナグループ 専務執行役員 CIO グループDX統括本部長
株式会社ラック 技術顧問

河野 一 氏
西本 逸郎 氏

◆講演④「複雑で難しいサイバーセキュリティを単純明快にする ～断片的な情報を図解することでつながる理解～」

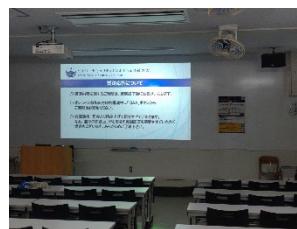
東京電機大学 サイバーセキュリティ研究所／Ridgelinez株式会社

佳山 こうせつ 氏

会場の様子



鳴門教育大学



新居浜工業高等専門学校



弓削商船高等専門学校



サイバーセキュリティシンポジウム道後 2025
Cyber Security Symposium in Dogo

(お問い合わせ先) 四国総合通信局 サイバーセキュリティ室 089-936-5044

「サイバーセキュリティシンポジウム道後2025」を開催

- 総務省四国総合通信局は、サイバーセキュリティシンポジウム道後実行委員会（委員長：小林真也 愛媛大学大学院教授）と協働し、**令和7年3月7日(金)・8日(土)の2日間、「サイバーセキュリティシンポジウム道後（通称：SEC道後）2025」を開催しました。**
- 地域住民が安全に安心して暮らせるサイバー空間の確保と、地域でのセキュリティ対策の強化につなげるため、「**サイバーセキュリティと事業継続～持続可能な成長に向けた戦略～**」をテーマに、産学官の多彩な登壇者による講演・パネルディスカッションのほか、参加者同士の交流の場であるナイトセッションや意見交換会を実施しました。

【目的・経緯等】

サイバー空間における情報セキュリティの重要性について広く普及・啓発を図るとともに、地域におけるサイバーセキュリティ人材の育成を目的に、平成24年から愛媛県松山市において開催しており、毎年全国からセキュリティの専門家や関心の高い方々が集まります。

14回目となる今回は、愛媛大学 城北キャンパスで開催し、**のべ約1,000名**(2日間：現地・オンライン)を超える方々にご参加いただきました。

【プログラム】

総務省サイバーセキュリティ統括官の**基調講演**をはじめ、サイバーセキュリティ分野の第一線で活躍されている専門家・企業の方々による**講演**や、インシデント被害を最小に抑えるための組織の対応等について考える**パネルディスカッション**のほか、参加者同士の連携と交流を深める**意見交換会**や**ナイトセッション**を実施しました。

ナイトセッションでは、昨今関心の高いテーマ（サイバーセキュリティお助け隊／脅威インテリジェンスを用いたサイバー攻撃対策／サイバーセキュリティ業界の未来と果たすべき役割／現実のインシデントでどう対応したのか・せざるを得なかつたのか）を取り上げ、熱心な議論が行われました。

また、シンポジウムの模様は、**四国内3箇所のサテライト会場**（鳴門教育大学、新居浜工業高等専門学校、弓削商船高等専門学校）において学生・教職員を対象にオンライン配信し、**のべ約15名**が視聴しました。

【主催】サイバーセキュリティシンポジウム道後 実行委員会

【共催】愛媛大学、愛媛県、松山市、総務省四国総合通信局、四国サイバーセキュリティネットワーク ほか

【後援・協力】サイバーセキュリティ戦略本部、経済産業省四国経済産業局、セキュリティ関連団体、テレコム関連団体、教育機関、研究機関、経済団体、等 約20企業・団体

【開催場所】愛媛県松山市（愛媛大学 城北キャンパスにおいて、ハイブリッド形式で開催）



＜講演会場の様子＞



＜パネルディスカッション＞



＜ナイトセッション総括＞



＜協賛社 展示ブースの様子＞



参加者の声（アンケートより）

- ・各分野における専門家のお話が聞けてとてもよかったです。
- ・SEC道後には何回か参加させていただいていますが、毎回期待を超える内容です。是非次回もお願ひしたいですし、次は時間長めでトライしていただけると嬉しいです。
- ・企業のセキュリティ部門担当者向け、セキュリティ事業者向け色々とあり全体を通じて勉強になるものばかりでした。
- ・スタンプカードを持ってブースを回るイベントも普段だと立ち寄らない会社様のお話を聞く機会となり、意外とこちらのニーズをお伝えすると裏から情報が出てきたりと、とても充実した情報収集となりました。

【お問い合わせ先】四国総合通信局 サイバーセキュリティ室 089-936-5044

「四国SEC サイバーセキュリティ管理者・担当者座談会」を開催

- 四国サイバーセキュリティネットワーク（四国SEC）は、令和7年3月19日（水）に「四国SEC サイバーセキュリティ管理者・担当者座談会」を開催し、企業、自治体、経済団体、大学及び国等の機関から、サイバーセキュリティ管理者・担当者及び情報システム運用担当者など約30名の参加がありました。
- 本座談会の発起人である株式会社マキタ様からの事例紹介や、サイバーセキュリティに関する国の施策説明、参加者を6グループ程度に分けて座談会を実施しました。本座談会終了後には、高松市内別会場で情報交流会も実施しました。
- 座談会では、様々な実情を抱える参加者間で、具体的なサイバーセキュリティ対策の取組やサイバーセキュリティ担当者の困りごと等について、活発な意見交換が行われていました。

開催概要

- ・日 時 令和7年3月19日(水) 14時～17時
- ・場 所 高松サンポート合同庁舎 南館1階 南108会議室（香川県高松市サンポート3-33）
- ・対 象 本社が四国、または参加者の勤務地が四国であるセキュリティ管理者

プログラム

◆事例紹介

株式会社マキタ 執行役員 情報企画部 部長 高山 百合子 氏、情報企画部 山子 太平 氏から、サプライセキュリティ向上活動について、自社の体験談を紹介。自社のサイバーセキュリティ状況をどのように改善したか、取引先企業のセキュリティ対策状況調査で得た気付き等を説明。

◆座談会

4～6名程度のグループに分かれ、参加者間で意見交換。「製造業・非製造業」「サイバーセキュリティ対策への取組度合」等のテーマでグループ分けを行い、3セッションの座談会を実施。

◆施策説明

経済産業省 四国経済産業局から、中小企業の情報セキュリティ対策ガイドラインやサイバーセキュリティお助け隊サービス等について説明。

総務省 四国総合通信局から、SEC道後やCYDER、四国SECの取組等について説明。

◆「四国サイバーセキュリティネットワーク（四国SEC）」は、総務省四国総合通信局、経済産業省四国経済産業局が連携して、地域に根付いたセキュリティコミュニティの形成を図るため設置し、地域のセキュリティ対策向上等に取り組んでいます。本座談会もその一環として実施したものです。

<https://www.soumu.go.jp/soutsu/shikoku/chiiki/shikoku-cybersecuritynet.html>



主催者挨拶



事例紹介



座談会



情報交流会

参加者の声（アンケートより）

- ・他社様の事例や悩みごとなどリアルな声を聞くことが出来て大変参考になりました。
- ・今回の座談会では、さまざまな規模の企業が集まり、横のつながりを作ることができました。実践的で、まさに「かゆいところに手が届く」非常に素晴らしい取り組みだと感じました。
- ・各社それぞれに課題がある中で、情報共有できるこのような機会は初めてでした。自社の至らしさを痛感致しました。直ぐに出来る事から、また計画的にセキュリティ対策を進めてまいります。
- ・WEBでは躊躇するような話も、対面では本音で話せる場が出来て非常に有意義な意見交換が出来ました。今後も、このような取り組みが継続していくことを期待します。

(お問い合わせ先) 四国総合通信局 サイバーセキュリティ室 (089-936-5044)